

4～8月 訪問支援等の状況

今年度も多くの学校等にお声がけいただいております。以下に、今年度の状況をお知らせいたします。2学期以降の参考になれば幸いです。今後とも本校の相談支援活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

【① 教育相談】

電話相談について、電話での問い合わせから訪問支援に至ったケースは訪問支援にカウントしています。

学校見学の件数は、7月のオープンスクールにて参加・見学したケースを含んでいます。オープンスクールは、今年度も混雑を避けるため就学に関する見学者に絞らせていただきました。その一方で、学校の先生等から普段の指導・支援に役立てたいという見学希望にも対応しています。その際には個別に日程調整します。お気軽にご相談ください。



| | | |
|-----------|---------|-----|
| ① 教育相談 | 電話相談 | 0件 |
| | 来校相談 | 0件 |
| | 学校見学 | 12件 |
| | 体験学習 | 1件 |
| ② 訪問支援 | 小学校 | 19件 |
| | 中学校 | 7件 |
| | 幼稚園・保育所 | 2件 |
| | 高等学校 | 6件 |
| ③外部専門家派遣 | | 1回 |
| ④研修支援 | | 7回 |

(令和5年度4月～8月)

【② 訪問支援】

感染症が沈静化し、昨年度同時期の1.5倍の相談件数がありました。また、通常の学級に在籍する児童生徒に関する相談が7割以上を占めています。

なお、今年度から、より丁寧に観察・懇談等を行うために、午前2ケース・午後2ケースに絞って対応しています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

《こんな相談がありました》

質問 定規をうまく使えないなど、手先の動きの不器用さがある。説明を理解する力が弱く、混乱したり、泣いてしまうこともある。



回答 図工の様子を見学すると、手先の操作性の課題だけでなく、見本を見て理解する力（空間認知の力）の弱さも見られました。単語程度のシンプルな手順表を書いて示すと、見通しがもて、自分で作業を進めることができました。「パッと見てわかる」ことが苦手な方には、このように言葉で整理すると理解が進むことがあります。また、「言葉で説明されればわかる」という自信がつけて、わからなくなった時にも落ち着いて自らフォローを求める力も身に付けていきたいところです。

【③ 外部専門家活用】

上記の②訪問支援の件数のうち、外部専門家を帯同したケースをカウントしています。下記のような相談の他、運動会練習などで全体の動きについていけないなどの不器用さについても、状況によっては理学療法士や作業療法士に観察・助言を求めることができます。

《こんな相談がありました》

質問 肢体不自由のある児童について、現在行っている自立活動の取組について観察の上、配慮点等の助言が欲しい。

回答 理学療法士による観察（関節可動域やバランスの確認、現在行っている自立活動の観察）を行いました。主な助言は次のとおりです。①両手を壁につけて手を開き肘を伸ばすストレッチは、手の開き具合と位置、肩の位置を確認する。②壁を背にして立ち片脚で支える練習では、体重がかかる位置に肩・骨盤が整っているか確認する。

【④ 研修支援】

今年は、学校ごとに校内研修会の一環として講師依頼をお受けすることが増えています。事前の訪問支援の状況を踏まえた情報提供をしています。また、小中学校の教研での講師依頼については、日時が重なっているためにご希望に添えないケースが複数ありました。できる限り調整してお受けしたいと考えておりますので、お早めにご依頼いただくと助かります。

《研修テーマの一例》

- ・情緒的特性がある児童の困難さの理解について
- ・途切れのない支援を目指すための子ども支援の在り方
- ・多様性を認め合い、豊かな関わりにつなげる取組



今後も、様々なお子さんの学びや生活の困難さについて、皆さんとともに考えていきます。心配なこと、悩んでいることなど、何かありましたら遠慮なく以下にご連絡ください。

山梨県立わかば支援学校 ふじかわ分校

〒400-0601 南巨摩郡富士川町鵜沢5673-12

TEL: 0556-27-0067 メール: wakafujy@kai.ed.jp

地域支援担当: 保坂美智子 豊嶋千鶴 小野みゆき

